

# 12月議会に期待

地方政治 クリエイト **伊藤 秀昭**

12月議会が始まり、5日からは、各議会一般質問が始まります。来年度の予算編成に向け大切な時であり、各議会での議論が注目されます。

■豊橋市 東三河の中で最も注目されるのが豊橋市議会。11月の市長選で三選を果たした佐原市長が、同28日に所信を表明し、その代表質問が5日に行われます。

佐原市長は、選挙中に訴えた「ともに生き、ともに考え、ともにつくる」としたキャッチフレーズを基本に、選挙中に示した「3つの約束」と「9つの政策」を

体では、本格的なネオオボラおぼさんの養成に取り掛かっています。

「イノベーションは偶然には起きない」とは過日、豊橋で講演した牧野光朗飯田市長の言葉です。この問題提起は佐原市長にも、豊橋市議会にも向けられます。

## 地方創生へ、議会も総力を！

■豊川市

人口18万人の豊川市。東に「本宮の湯」、西に三河湾、高速道路のインターチェンジは2カ所、東海道線に飯田線、名鉄線。中央には歴史あるものづくり産業群…。

秘めたコンパクトなまち、そのものではないかと気がつきます。そして「子育てするなら豊川市」と子育てで突出しています。

昨年「全小中校にエアコン設置」に踏み出した時、山脇市長に「こういうことは東三河が横一線です。東三河が横一線です。」と語られています。

■蒲郡市

蒲郡の特徴は「海」。三河湾の夕日に照らされたヨットハーバーや海岸線を望むと、これが同じ東三河かと胸が高まらざるを得ません。

ていくことは大変重要なまちづくりの方向性であり、そこに蒲郡のまちの新たな価値が附加され、地域経済の活性化やヘルスケア分野の技術革新、新たな雇用の創出がなされていくはずと。

若手議員が真摯に学ぶ蒲郡市議会に学ばせていただきました。

■新城市

16年第11回マニフエスト大賞の「最優秀シズンシップ推進賞」に新城市若者議会が選ばれました。

■田原市議会

サーフタウン構想の実現に向けて、サーフィンを田原市の資源と捉え全

国・世界から選ばれたサーフスポットとし、常に賑わいあふれるまちを目指す田原市。